

2024年9月19日

報道関係各位

牧野植物園が新たに参画、教育プログラムを充実

## 高知県・協働の森づくり事業 5者間での協定を締結

～環境保全・地域振興をはかるとともに自然を生かした学習機会の提供へ～

株式会社ツムラ（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：加藤照和、以下当社）は、2008年から高知県、越知町および農事組合法人ヒューマンライフ土佐との4者間で「環境先進企業との協働の森づくり事業(以下、協働の森づくり事業)」パートナーズ協定を結び、越知町の森林整備と越知中学校での教育活動に取り組んでまいりました。このたび、教育プログラムの刷新を行うとともに、学習内容のさらなる充実を図るため、上記の4者に加え高知県立牧野植物園の指定管理者である公益財団法人高知県牧野記念財団（理事長：川原信夫）が新たに参画し、5者間での協定を締結しましたので、お知らせいたします。

本協定の締結により、高知県が誇る豊かな自然環境の保全や地域振興に貢献するとともに、地元の生徒の皆さまが自然・産業・歴史を学べる総合的な教育プログラムを提供してまいります。

### ■ 協定締結式概要

日 時： 2024年9月19日（木）15時30分～15時50分

場 所： 高知県庁本庁舎2階 第一応接室

出席者： 高知県副知事 井上 浩之（いのうえ ひろゆき）様

越知町町長 小田 保行（こだ やすゆき）様

農事組合法人ヒューマンライフ土佐組合長 高橋 昌彦（たかはし まさひこ）様

公益財団法人高知県牧野記念財団理事長 川原 信夫（かわはら のぶお）様

株式会社ツムラ取締役 Co-COO 杉井 圭（すぎい けい）

自然と健康を科学する

### お問い合わせ先

株式会社ツムラ コーポレート・コミュニケーション室 広報グループ 担当：瀬戸、吉崎

〒107-8521 東京都港区赤坂 2-17-11 TEL.03-6361-7100 FAX.03-5574-6630

## ■ 5 者間での新たな取り組み

- ・ 公益財団法人高知県牧野記念財団の強みを活かした教育内容の充実  
牧野植物園を管理運営する財団が持つ「高知の自然や歴史への深い造詣や知識」を活かし、同園の研究者や調査員による解説や座学などを通じて、越知中学校の生徒の皆さまに向け、これまで以上に高度な教育の機会を提供いたします。
- ・ 地元フィールドを主体とした教育機会の拡充  
これまで実施してきた生薬の収穫体験に加え、牧野富太郎博士ゆかりの横倉山におけるフィールドワークを新たに実施し、薬用植物に関する教育から、外来生物の防除や希少植物・動物の保護を含めた「生物多様性」に関する総合的な教育の場を提供いたします。
- ・ DX（デジタル・トランスフォーメーション）を意識した教育内容の充実  
タブレット端末上で動作するオリジナル電子図鑑「みんなの Edu-CO」を新たに開発・導入いたします。生徒の皆さまが自らの学びや発見を電子図鑑に集約し、その情報を先生やその他の生徒も閲覧することができます。学びを蓄積、共有することで世代を超えた持続的な学習の発展を目指してまいります。



越知町の山間を流れる仁淀川



地元中学生による生薬の収穫および加工体験の様子

## ■ これまでの取り組みと今後の予定

2008年に4者間協定を締結して以来、生薬となる薬用植物の収穫や加工体験、出前授業などを実施し、これまで1,000人以上の越知中学校の生徒の皆さまが学びを深めてまいりました。また「協働の森づくり事業」の枠組みの中で協賛金を拠出し、越知町有林の整備にも充てております。その結果、これまでに約1,770tのCO<sub>2</sub>吸収につなげることができました。

今後の取り組みとしては10月8日（火）に横倉山で牧野植物園のガイドのもと、薬用植物を観察するフィールドワークを実施する他、12月にはミシマサイコの収穫体験を実施する予定です。

私たちは「協働の森づくり事業」を通じて、今後も教育機会のさらなる拡充や自然環境の保全につなげるとともに、地域振興や自然環境に興味を持つ人財の育成に貢献してまいります。

以上